

# ベルマンビジット ページャ受信機

## BE1470



株式会社 自立コム

### 使用方法

#### 〈取り付けと機器のテスト〉

1. 電池収納蓋 **7** を開き、単 4 アルカリ電池または充電済みの単 4 充電電池を装着し、蓋を閉めます。  
(装着した時に4つのLEDが同時に1度、点滅します。)
2. 次にページャ受信機の無線受信テストをしてください。  
ベルマンビジットシステムのいずれかの発信装置のテストボタンを押してください。
3. ページャ受信機の該当 LED 表示ランプ (**2** ~ **5**) が点灯し、振動します。
4. ページャ受信機は身体にできるだけ密着した服、ズボン、スカートなどにクリップ **9** で留めます。落下防止のため、ひも付きクリップ(付属)も同時に使用することをお勧めします。

### システム表示

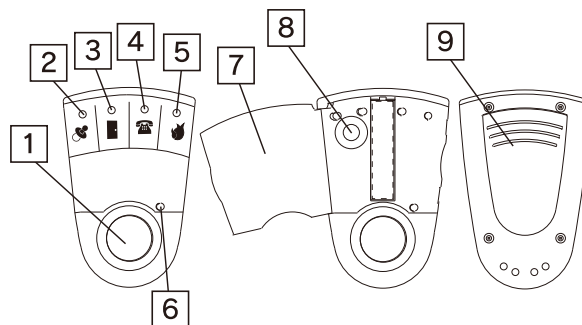
発信機からの信号を受けて点灯する LED (**2** ~ **5**) は通常、下記の信号受信を表示します。

橙 LED **2** : ベビーセンサ発信機 (赤ちゃんの泣き声)

緑 LED **3** : ドアベル発信機、ドアセンサ発信機 (玄関 / 来客)

黄 LED **4** : テレホンセンサ発信機 (電話 / FAX 着信)

赤 LED **5** : 火災警報器



- 1** 機能ボタン
- 2** LED : 橙
- 3** LED : 緑
- 4** LED : 黄
- 5** LED : 赤
- 6** 電池残量表示 LED (黄)
- 7** 電池収納蓋
- 8** 電池取出し用ボタン
- 9** クリップ

## 振動

ページ受信機は発信機毎に異なるパターンで振動します。振動パターンの詳細は各発信機のマニュアルを参照してください。ページ受信機が NiMH 充電機を装着している場合は、ページ受信機をベルマンビジット充電器 (BE1260) に接続でき、さらに 2 台までのベッドシェーカ (BE1270BV) を充電器に接続できます。ベッドシェーカは就寝中、枕カバーの中や布団とシーツの間などに置き、ページ受信機が反応した時、振動で目覚めさせます。

**【注意】** ページ受信機が充電器に接続されている時、ページは振動しませんが、表示ランプは通常通り点灯します。

## 電源

LED **6** が黄色く短く点滅する場合は、電池残量が少なくなっているため電池交換をしてください。電池は単 4 アルカリ電池または NiMH ニッケル水素電池を使用してください。

## 無線設定

通常は設定変更などの調整は必要ありません。ただ、お近くに別のベルマンビジットシステムが存在するような場合、お互いの電波干渉を避けるため、それぞれのベルマンビジットシステムをグループ毎に無線設定することができます。

無線設定の変更方法は

- 発信機の無線切替スイッチの位置を適当な位置に変更します。発信機のマニュアルを参照してください。
- 機能ボタン **1** を緑 LED **3** と黄 LED **4** が交互に点滅するまで押し続けます。点滅から 30 秒間、プログラム変更モードになります。
- 発信機のテストボタンを押します。
- LED (**2**, **3**, **4**, **5**) が 5 周点滅し、無線スイッチが同一グループに設定されたことを示します。
- 設定が終了するとページ受信機は自動的に通常の状態に戻ります。

## 表示と信号

受信機にどのようなアラームを表示するかは通常、発信機側で設定します。設定に関する詳細は各発信機のマニュアルを参照してください。

## 信号パターン

信号パターンはベルマンビジット受信機にどのようなパターンの信号を表示させるかを定めるものです。発信機の信号スイッチを変更することにより受信機側の信号パターンを変更することができます。

信号タイプ	LED パターン	振動パターン
緑 1	緑：常時点灯	間歇
緑 2	緑：2 回連続点滅	間歇
緑 3	緑：3 回連続点滅	間歇
緑 4	緑：常時点滅	間歇
黄 1	黄：常時点灯	断続
黄 2	黄：2 回連続点滅	断続
黄 3	黄：3 回連続点滅	断続
黄 4	黄：常時点滅	断続
橙 1	橙：常時点灯	急速
橙 2	橙：2 回連続点滅	急速
橙 3	橙：3 回連続点滅	急速
橙 4	橙：常時点滅	急速
緊急通報	赤 / 橙：交互に点滅	長時間
火災警報	赤：常時点滅	長時間

## 高度なプログラム設定

ページ受信機を高度にプログラムすることで、無線スイッチには関係なく特定の発信機からの信号を既定でなく別の信号パターンでお知らせすることができます。目的は、たとえば表玄関と裏玄関にそれぞれドアセンサを置いた場合、既定では一つの玄関マークのLEDが点滅し、表玄関か裏玄関かの区別はつきません。しかし、赤ちゃんの泣き声センサやテレホンセンサを利用していない場合、裏玄関のドアセンサからの信号を赤ちゃんマークまたは電話マークにLEDを点滅させることで表玄関と区別する事ができます。ただし、火災マークは変更することができません。

設定は次のようにしてください。

1. ページ受信機の機能ボタン<sup>①</sup>を、緑LED<sup>③</sup>と黄LED<sup>④</sup>が交互に点滅するまで押し続けます。点滅から約30秒間、プログラム変更モードになります。
2. 特定の送信機に接続しているドアチャイムを鳴らしたり、電話着信をさせたりして実際の信号をセンサから発信させます。(発信機のテストボタンは押しません。)
3. 正常に受信すると橙LED<sup>②</sup>、緑LED<sup>③</sup>、黄LED<sup>④</sup>、赤LED<sup>⑤</sup>の順序にスクロールしながら点滅します。
4. 機能ボタン<sup>①</sup>を、電池残量表示LED<sup>⑥</sup>が黄色に点灯するまで押し続けます。  
※ここから、LED表示、振動の選択操作が始まります。
5. 機能ボタン<sup>①</sup>を短く押してLED表示オプションをスクロール表示させます。決定したら、そこで、機能ボタン<sup>①</sup>を、電池残量表示LED<sup>⑥</sup>が消灯し黄色に点灯するまで押し続けます。  
※LED表示の選択が終了しました。
6. 機能ボタン<sup>①</sup>を短く押して振動のオプションをスクロールさせます。決定したら、そこで、機能ボタン<sup>①</sup>を、電池残量表示LED<sup>⑥</sup>が消灯し黄色に点灯するまで押し続けます。  
※振動パターンの選択を終了しました。
7. この時点で受信機は設定した内容を反復表示し、暫くすると自動的に通常モードに戻ります。  
この段階では、テストボタンを押すなどの操作は必要ありません。

## 設定した高度なプログラムの解除

高度な設定をしたプログラムを解除する方法は下記のとおりです。

1. 機能ボタン<sup>①</sup>を緑LED<sup>③</sup>と黄LED<sup>④</sup>が交互に点滅するまで押し続けます。点滅から約30秒間、プログラム変更モードになります。
2. 機能ボタン<sup>①</sup>を素早く続けて3回押します。
3. すべてのLED(②～⑤)が数秒間点灯します。
4. 高度な設定は解除され、自動的に通常モードに戻ります。

## トラブルシューティング

故障かなと思ったら、販売元や輸入元に修理を依頼する前に下記のことをご確認ください。

症状	対策
全く反応しない。	●電池を交換してください。単4アルカリ電池かNiMHニッケル水素電池をお使いください。
LED <sup>⑥</sup> が黄色に点滅する。	●電池を交換してください。単4アルカリ電池かNiMHニッケル水素電池をお使いください。
発信機からの信号をページが全く受信しない。	●ページ受信機と発信機が同じ無線設定になっているか確認してください。無線設定の項を参照してください。 ●発信機の電池を確認してください。 ●発信機とページ受信機の距離が離れすぎていないかどうか、双方を近づけて確認してください。
発信機が作動していないのにページ受信機が反応する。	●近くに同じ無線スイッチの機器があることが考えられます。グループ内の全ての発信機及び受信機の無線スイッチを変更してください。

## 仕様・技術情報

サイズ : 57×86×29mm 重量: 70g (電池含)、55g (電池なし) 色: グレー / 赤機能ボタン  
主電源 : ヘルマンビジット充電器 (BE1260 : 別売)  
電池 : 1.5V 単4アルカリ電池 ×1 または 1.2V 単 NiMH ニッケル水素充電電池 ×1 本  
電池寿命 : アルカリ電池 約2～3週間 NiMH ニッケル水素充電電池 フル充電で約1週間  
消費電力 : 作動時 約220mA 待機時 約1mA  
無線周波数帯 : 315MHz  
無線切替スイッチ : 標準で64通りの設定が可能  
無線到達距離 : 直線見通し距離約30m。建物の構造・材質やテレビ、コンピュータなどの家庭用電化製品の影響により到達距離が短くなることがあります。  
アクセサリ (別売) : ヘルマンビジット充電器 (BE1260) ベッドシェーカ (BE1270BV)